



# イスラム世界の魅力

中世の時代、ヨーロッパにも多大な影響を与えたイスラム文化。その基本的な知識と建築・工芸などの文化についてお伝えします。

をもつ枢機卿も女性は皆無。日本でも高野山など女人禁制の例は少なくありません。それは、いずれも女性の魅力が修行の妨げになるからです。また、イスラムの女性は布で身体を隠します。これは女性を保護する考えからで、自宅では知らない男性に会う場合に限ります。礼拝の場所が男女別々なのも理由があります。イスラムのお祈りは頭を極端に下げ、お尻が突き出るため、そんな姿を男性に見せたくない女性に配慮したのです。イスラム圏の一部で見られる一夫多妻は、かつてイスラム世界が拡大する過程で多くの男性が犠牲となり、未亡人や孤児を養育するために容認されたとか。女性たちは妾ではなく、夫人で、平等に扱うことが条件となります。断食は、1年に1度ぐらいはひもじい思いをして食事の有り難さを実感し、食べ物に困っている人に施そうという教えで、病人や妊婦、子どもたち、旅行者などは免除されます。

もなく親もなく、並ぶ者なき御神ぞ」とあります。姿かたちのない絶対神を絵や彫刻などにする。こと自体がまやかして、神への冒瀆と考えるからです。

## 個性豊かなイスラム旅情

イスラムは古代ギリシャの文化を基に、イラン、インドなどの文化を加え、ヨーロッパが沈滞していた10〜12世紀に花開きました。私たちが何気なく使っているソーダ、シロップ、ガゼ、パジャマなどの言葉はアラビア語かペルシャ語で、算用数字はアラビア数字ともいいます。イスラム世界は、西は北アフリカからイベリア半島やシチリア島を経てヨーロッパへ。東は中央アジアやインドなどに伝わりました。

8世紀にイスラムの都が置かれたスペインの Cordoba は、10世紀にはヨーロッパ有数の大都市に発展。シンボルの巨大なモスク「メスキータ」は、その後キリスト教徒の「国土回復運動」で大聖堂に改築されますが、赤レンガと白い石を組み合わせた856本（改築前は千本以上）の美しい柱は、免震構造を意識していたといえます。その素晴らしさは、凱旋したスペイン王カルロス5世が「おまえたちは世界のどこにでもある聖堂



▲ 美しい柱が林立する Cordoba のメスキータ  
▲ アルハンブラ宮殿のヘネラリフェ  
写真2点とも © スペイン政府観光局

を造るため、世界のどこにもないものを壊してしまったのか」と述べたほどです。

イスラム建築の最高傑作といわれるグラナダのアルハンブラ宮殿は、1492年にキリスト教徒軍によって無血開城。そつけない外観に反して、内部には数々の美しい中庭が設けられ、繊細な鍾乳石飾りや草花をモチーフにした緻密な装飾など、驚嘆の声を誘います。一方、トルコでは1453年にオスマン帝国がビザンチン帝国の都コンスタンティノープル（イスタンブール）を攻略。16

## イスラム社会の「なるほど」

女性蔑視については、イスラムに限らず、キリスト教のローマ教皇はもちろん「コンクラーヴェ(教皇選挙)」で選挙権

をもつ枢機卿も女性は皆無。日本でも高野山など女人禁制の例は少なくありません。それは、いずれも女性の魅力が修行の妨げになるからです。また、イスラムの女性は布で身体を隠します。これは女性を保護する考えからで、自宅では知らない男性に会う場合に限ります。礼拝の場所が男女別々なのも理由があります。イスラムのお祈りは頭を極端に下げ、お尻が突き出るため、そんな姿を男性に見せたくない女性に配慮したのです。イスラム圏の一部で見られる一夫多妻は、かつてイスラム世界が拡大する過程で多くの男性が犠牲となり、未亡人や孤児を養育するために容認されたとか。女性たちは妾ではなく、夫人で、平等に扱うことが条件となります。断食は、1年に1度ぐらいはひもじい思いをして食事の有り難さを実感し、食べ物に困っている人に施そうという教えで、病人や妊婦、子どもたち、旅行者などは免除されます。

17世紀に絶頂期を迎え、ハプスブルク家の都ウィーンを脅かしました。イスタンブールには繁栄を物語る多くの建造物が残され、6本のミナレット(尖塔)を持つ壮麗な「ブルーモスク」は、高さ43m、直径約23mの巨大なドームを持ち、内部はブルーを基調とした2万枚もの高価なイズニックタイルで飾られています。

さらに、ビザンチン建築を代表する「アヤソフィア」や豪華なハーレムを残す「トプカプ宮殿」など見どころは尽きませんが、ボスポラス海峡を望む「ドルマバフチェ宮殿」は、イスラムとバロック様式を融合させた堂々たる建物で、総重量4トンを超すバカラ製のクリスタルのシャンデリアが下がる「帝位の間」など、贅を尽くした造りが見る者を圧倒。オプショナルツアーでご案内したお客様は



美しい青を基調にした「ブルーモスク」の内部



「ブルーモスク」の名で知られるスルタンアフメット・ジャミー



ドルマバフチェ宮殿「帝位の間」の世界最大級のシャンデリア

「ベルサイユ宮殿よりも凄い」と驚かれています。また、15世紀に建てられたグランドバザールは、居並ぶお土産屋もさることながら、アーケードの素晴らしい装飾も見ものです。

## インドでも快適ホテルを厳選

インドのイスラムは、13世紀に始まったデリー・スルタン朝の後、16〜19世紀半ばまでムガル朝の時代となります。世界美しい建造物といわれる「タージマハル」は、ムガル朝第5代皇帝シャージャハーンが最愛の王妃ムムターズ・マハルのために建てた霊廟で、イスラムとインドの伝統美が融け合い、白亜の外観も細部の装飾も目を引く素晴らしさです。デリーには、この建物のモデルとなった「フマーン廟」があり、4つの正方形からなる「4分庭園」の造形美も見もの。また、イスラム軍がヒンドゥ教徒軍を破った戦勝を記念して建てられた尖塔「クトゥブ・ミナール」も見えます。



白亜の霊廟タージ・マハル © Vladislav Lebedinski - Fotolia.com

ご紹介した、スペインの Cordoba はイスラムとヨーロッパの文化が比較できる貴重な町。また、アジアとヨーロッパを結ぶトルコはお酒が飲めるほど戒律が緩く、イスラム世界が味わいやすい国。そしてインドはヒンドゥーなどの伝統文化と融合した独自の文化が魅力といえるでしょう。

ところで、お客様の中にはインドと聞くと、衛生面などで敬遠される方もいらっしゃると思いますが、フレンドツアーが利用するホテルは、伝統と格式の「タージ・パレス」など設備もサービスもデラックスなホテルを厳選。安心してご参加いただけます。異国情緒あふれるイスラムの旅をご堪能ください。



デリーに残る75mの「クトゥブ・ミナール」はミナレットとして世界一の高さ

ご紹介した見どころを訪ねるコースの詳細は、同封のパンフレットをご覧ください。

- スペインハイライト8日間 ▶「イタリア・スペイン」第1版 37ページ
- スペインに憧れて9日間 ▶「イタリア・スペイン」第1版 39ページ
- ベストスペイン11日間 ▶「イタリア・スペイン」第1版 41ページ
- スペイン新幹線AVE乗車! 人気バラドールを楽しむスペイン10日間 ▶「イタリア・スペイン」第1版 45ページ
- ザリッツ カールトンに泊まるトルコハイライト8日間 ▶「トルコ・ギリシャ」第1版 11ページ
- カッパドキアの洞窟ホテルに泊まるトルコ紀行10日間 ▶「トルコ・ギリシャ」第1版 13ページ
- カッパドキア ケープリゾートアンスパに泊まるトルコ周遊12日間 ▶「トルコ・ギリシャ」第1版 15ページ
- トルコ航空ビジネスクラスで行く優雅なトルコ10日間 ▶「トルコ・ギリシャ」第1版 17ページ
- トルコ航空ビジネスクラスで行く 洞窟ホテルに泊まるトルコハイライト8日間 ▶「トルコ・ギリシャ」第1版 19ページ

エア・インディアビジネスクラスで行く 宮殿ホテルに泊まるインドハイライト8日間

◆出発日: 2012年2月5・19日、3月4・18日発

◆旅行代金: いずれも379,900円 ※お1人様(12歳以上)2名様1室利用の場合

2月5、3月4日発は催行確約 いずれも加藤添乗員が同行!

お電話でパンフレットをご請求いただけます

ここがポイント! タージ・マハルやクトゥブ・ミナールなど、インドの7つの世界遺産へご案内。全都市デラックスクラスホテルに宿泊。さらにジャイプールでは宮殿ホテルに2連泊します。

ジャイ・マハール・パレス(イメージ)

ご予約の際は、「Vamos WESTを見た」とお伝えください。抽選で「宅配クーポン」が当たります! ※詳しくは2ページをご覧ください。